

北松中央病院だより

HOKUSHO CENTRAL HOSPITAL NEWS

内科／呼吸器科／循環器科／消化器科／腎臓内科／糖尿病・代謝内科／内分泌内科
脳神経内科／整形外科／放射線科／リハビリテーション科



撮影地：佐世保市江迎町 撮影者：森 哲洋



病院理念

生命への畏敬

Vol.65

2025.10.25
Autumn

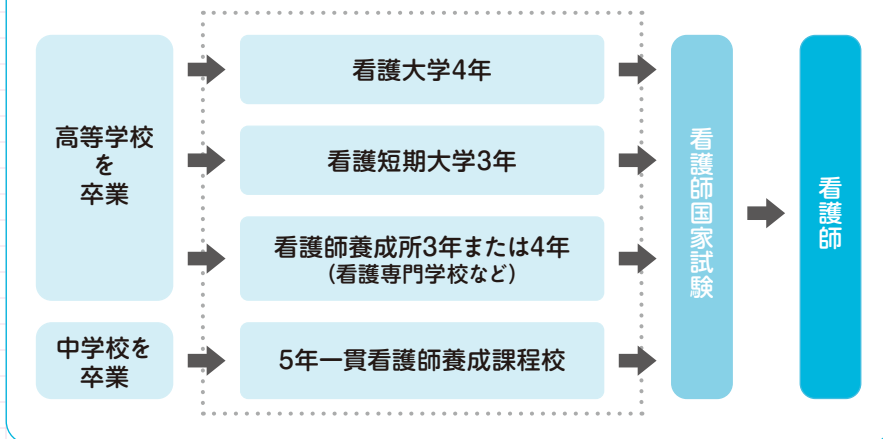
看護師の仕事

24時間いのちをまもり支える専門職

看護師の仕事は、傷病者やじょうけい婦（産後間もない女性）の療養上の世話をしたり、診療の補助を行うことです。“人”をみるという看護師独自の視点で、対象となる人を身体や精神、社会、文化などさまざまな側面から捉え、情報を総合的にアセスメントし、必要な看護を的確に判断します。病院や診療所などの医療機関のほかに、訪問看護ステーションや介護・福祉関係施設、企業、学校など、人々の生命と生活を支える専門職として、看護師が活躍する場はどんどん広がっています。

今後もさらに超少子高齢化が進むため、これからの医療を支えるためには看護師が多様な場でさらに役割を発揮することが期待されています。

看護師になるための進路コース

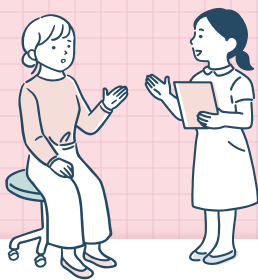


外来看護師の仕事

通院患者さんの診察や検査がスムーズに進むように支援します。また、患者さんのお話しや表情などの様子から症状や健康状態、ご自宅での生活の状況などを知り、病棟や地域とも連携して必要な治療・ケアにつなげるなど、患者さんが安心して暮らしていただけるようサポートを行います。

処置

採血、注射、点滴などの処置や検査後の観察などを行います



説明・指導

患者さんやご家族への検査・治療に関する説明や生活指導を行います

検査・治療のサポート

患者さんが安心してスムーズに内視鏡や心臓カテーテル、検査・治療、化学療法などを受けられるようにサポートします



救急外来

急病で緊急搬送された患者さんに対し、迅速かつ適切な緊急度の判断、救命処置などを行います

問診／診察介助

患者さんの問診・情報収集、血圧などを測定しながら的確に患者さんの状態をアセスメントしたり、診療の補助を行います



病棟看護師の一日

病棟は、患者さんの治療を行う場であると共に、生活をする場でもあります。

看護師は24時間体制で交代しながら、患者さんの状態観察や日常生活のサポート、状態に合わせたケアの提供をしています。



看護師に 質問コーナー



Q. 看護師になった
きっかけは？

中学生の時に見た救命の
ドラマがきっかけです。
救命の現場で命と向き
合う看護師がかっこよく
私もそうありたいと思い
目指しました。

Q. 看護師として働く喜びは？

患者さんやご家族と回復した喜びを共有
出来たときです。

Q. どんな看護師に
なりたいか？

患者さんやご家族との出会いに感謝し、い
つまでも日々精進できる看護師になりたい
です。



Q. 看護師になった
きっかけは？

入院した時の看護師との
かわわりで魅力を感じた
からです。

Q. 看護師として働く喜びは？

患者さんが回復していく姿や患者さんの笑
顔を見るとやりがいを感じます。

Q. どんな看護師に
なりたいか？

患者さん・ご家族・スタッフから信頼される
看護師になりたいです。



Q. 看護師になった
きっかけは？

祖父が入院しているとき
の看護師の姿を見てかっこ
いいなと思ったからです。

Q. 看護師として働く喜びは？

患者さんが元気になっていく姿や笑顔を見
ると元気が出ます。

Q. どんな看護師に
なりたいか？

目配り・気配り・心配りができ、周りの方か
ら頼られる看護師になりたいです。

青葉会は北松中央病院の従業員互助会の組織です。

令和7年7月12日(土)～13日(日)に

佐世保青少年の天地にて

青葉会

レクレー

ションを

開催し

バレー・

バスケット・

ドッジボールの

球技大会とバーベキューを楽しみました。

会員・会員家族合わせ30名の参加があり、普段

なかなか接点のない他部署の職員とも交流を

深める貴重な機会となり、笑顔あふれる

一日となりました。部署の垣根を越えた

コミュニケーションが生まれ、今後の

業務にも良い影響が期待されます。

また、来年も開催予定です！

VOLLEYBALL
DODGEBALL
BASKETBALL

医療安全かるた大会

医療安全研修の一環として、第2回となる「医療安全かるた大会」を開催しました。当日は40名のスタッフが参加し、レジリエンスを用いて作製した「医療安全かるた」を使いながら熱戦を繰り広げました。札には医療安全に関する標語や注意点が盛り込まれており、楽しみながら自然と医療安全について確認・共有することが出来ました。取り札が決まるたびに歓声や笑い声が上がり、真剣さと和

やかさが入り混じる大会となりました。

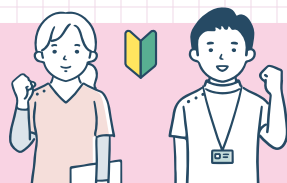
また、他部署・他職種のスタッフと交流する貴重な機会ともなり、職場全体での医療安全への意識向上につながりました。

運動促進イベント

職員の心身健康保持増進と体力向上、リフレッシュを目的とした運動促進イベントを行いました。7月15日にインストラクターさんをお招きし、研修会館にて40名の職員参加して楽しく汗をかくことができました。



新人研修



今年8名の新人看護師が入職し、知識、技術を深める為の研修を行っています。夜勤前に複数の患者から同時にケアを求められたり、予測できない事態が発生したりする多重課題発生時の対応を学ぶ机上訓練と実施訓練を行いました。机上訓練では優先順位をつけるポイントと他者に依頼するタイミングなどをお互いに意見を出し合いました。



実地シミュレーションでは、実際に多重課題になるように場面を設定して研修を行いました。緊張した表情も見られましたが、観察すべき点をきちんと捉えることができ、患者役の先輩に優しく声をかける姿が印象的でした。自分1人では対応できない際には、応援を呼び相手に依頼するなど、4月に入職して半年が経ち成長する姿をみることができました。

救急防災週間



今年度の救急防災週間は災害時の対応普及活動として、9/2～9/9までポスター掲示を行いました。9/9には、コロナ禍明け5年ぶりに西消防署江迎・鹿町出張所の方による救急に関するイベントを開催しました。救急車と消防車の展示が行われ、託児所や江迎保育園の子供たちが来院し、車内を見学したり実際に乗車し、多くの笑顔が見られていました。



ペイシェントハラスメント研修会

ペイシェントハラスメントとは、患者やその家族が医療従事者に対し、暴言や暴力、セクハラ、不当な要求などのハラスメント行為を行うことです。

令和7年9月11日、全職員を対象に、江迎警察署と連携してペイシェントハラスメント研修を実施しました。当院の対策委員より改訂された対応マニュアルの説明があり、現場での対応手順や支援体制が明確化されました。生活安全課の講演では、警察との連携方法や通報時の留意点についてアドバイスしていただき、職員の安心感向上につながりました職員が安心して働きながら、患者さんやご家族にもより良い医療の提供ができるように努めてまいりたいと思います。



発表

7/5

第6回 SASEBO CT Meeting 佐世保総合医療センター
「撮影法の紹介」

山内 海斗

7/19

第31回日本心臓リハビリ学会学術集会 ポートメッセなごや
「在宅での運動習慣とフレイルの経年変化について」

山本 慎一郎

9/20

第17回長崎MRIユーザーティング 長崎県立総合体育館
「MultisliceT2WI 3D-BPAS・MR Boneimagingについての検討」

小平 卓武

当院では、PTP誤飲防止対策に取り組んでおります

※PTPシートとは、錠剤やカプセルなどの医薬品を、プラスチックとアルミでできた1錠ずつのポケットに分けて包装したものです。

お薬を内服する際に、PTPシートから取り出すことなく服用した事例が全国で報告されています。当院での対策としましては、お薬は可能な限り「一包化調剤」を推奨しております。但し、お薬によっては一包化出来ない場合もありますので、その際はPTPシートでお渡しするのではなく、専用容器に取り出してお渡ししています。



- 薬を包装シートのまま飲み込んでしまうと、のどや食道などを傷つける危険性があります。
- 間違えて飲んでしまった可能性がある場合はすぐに医療機関へ申し出て下さい。
- 誤飲の要因は、「～しながら」「ついうっかり」が多く、年齢に関係ありません。

誤飲を防ぐために…

お薬は1錠ずつ切り離さないでPTPシートから取り出して服用する事をお勧めします。
服用の際はお薬をカップ等に入れて錠剤のみを服用する様にしましょう♪



◎週間ドクター診療日 (※太字は新患担当)

(令和7年10月現在)

診療科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼吸器科	徳永 直紀	東山 康仁	徳永 直紀	東山 康仁	東山 康仁
循環器科	田中 規昭	福井 純 松尾 俊哉	田中 規昭	福井 純	*山 佐 稔彦 (長崎労災病院) 松尾 俊哉
消化器科	陣内 駿一	高森 謙一	陣内 駿一	—	高森 謙一
腎臓内科	下口 峻	久原 拓哉	久原 拓哉	中沢 有香 下口 峻	中沢 有香
整形外科	—	*北原 博之 (佐世保中央病院)	*小西 宏昭 (佐世保中央病院)	—	—

※非常勤医師

受付時間

8:30~11:00

診療時間

9:00~12:00

13:00~17:15

(但し、午後は急患のみ)

休診日

土曜日、日曜日、祝祭日、
年末年始(12/29~1/3)

※急患は、診療時間にかかわらず、24時間対応いたします。

専門診療施設・機器等

ICU(7床)、感染症病床(2床)、地域包括ケア病棟(36床)、血液浄化センター(50床)
リハビリセンター、健診・人間ドック、内視鏡センター、CT(320列MDCT)、MRI(1.5T)
心血管造影室、心臓MDCT、超音波検査(心臓、血管、腹部、甲状腺)、
動脈硬化検査(脈波(PWV, CAVI)、中心動脈圧(AI)、上腕動脈血管拡張反応(FMD))
心臓リハビリセンター、心肺運動負荷試験(CPX)

併設

訪問看護ステーション たんぽぽ
指定居宅介護支援事業所
院内保育施設「なでしこ保育所」完備
救急ヘリポート完備



Wi-Fi接続サービスのご案内

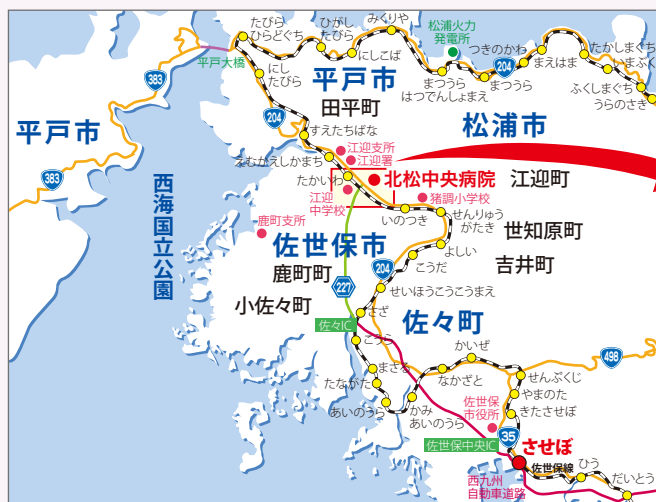
Wi-Fi接続サービスご案内



外来待合室での無料Wi-Fiサービスを開始しています。待ち時間を有効に使っていただければ幸いです。

◎検査外来

午前	人間ドック	月~金	午後	大腸ファイバー	月・水・木・金	午前・午後	心エコー	月~金
	胃X線検査	〃		心臓カテーテル検査	火・水・木		血管エコー	〃
	胃・内視鏡検査	〃		気管支ファイバー	火		CT	〃
	腹部エコー	〃		ERCP	適宜		MRI	〃
	眼底検査	〃		腎生検	〃		脈波	〃
	トレッドミルテスト	〃					肺機能	〃
	心肺運動負荷試験	月・水・金						



アクセス



西肥バス……………北松中央病院前下車
MR松浦鉄道……………高岩駅下車約300m
車……………国道204号線 江迎町赤坂
西九州自動車道路 佐々インターより
県道227号線を約8km

北松中央病院だより Vol.65 令和7年10月25日発行 地方独立行政法人 北松中央病院 発行責任者/東山 康仁
広報委員会:委員長 森哲洋・榊原淳・中村貴泰・白石有香里・白濱多恵子・麻生眞理菜・正木佑子・岡本和代・原口勝典



地方独立
行政法人

北松中央病院

(併設) 訪問看護ステーションたんぽぽ・居宅介護支援事業所

〒859-6131 長崎県佐世保市江迎町赤坂299番地

☎ (0956) 65-3101 FAX (0956) 65-2124 <http://www.hokusho.dr-clinic.jp/>